

編集後記

寒い冬が終わり、暖かい日が続くようになり春を感じるようになってきました。そしてJ2リーグも開幕し、今期新たに昇格した鹿児島ユナイテッドF.Cがどこまで頑張ってくれるか非常に楽しみです。

「論説と話題」は米盛公治先生の「平成30年度桜島火山爆発総合防災訓練」です。1人の犠牲者も出さず、避難体制のさらなる強化とのことで取り組んでおられます。何時災害は起きるかわかりません、その時に何が出来るか私も常に考えておきたいと思えます。

「トピックス」では、防火活動優良事業所表彰を受賞された鹿児島市立病院、アクラス中央病院、上山病院が受賞御礼を述べられるとともに各施設が取り組んでおられる防災対策を紹介されています。

「医療トピックス」はくすり一口メモ、肺炎治療におけるアンピシリンナトリウム・スルバクタムナトリウム注射用製剤の代替についてです。各肺炎についての選択薬、腎機能に応じた投与量など大変勉強になりました。

「学術」は鹿児島医療センターの西元謙吾先生から「声門下にハナビル (*Dinobdella ferox*) が寄生した内部蛭症」です。蛭が声門に吸着するなんて事があるんですね、吸着している蛭を摘出するのは大変ご苦労があったのではないかと勝手に思っている次第であります。貴重な症例ありがとうございます。

「医師会病院だより」は、永田悦朗先生より麻酔科から、腹部手術では腹腔鏡手術が主流となり、脊髄神経前枝ブロックを併用した全身麻酔、覚醒後に起こる悪心、嘔吐に対してプロポフォールオピオイドの持続投与、BISモニターを行い安全で満足度の高い麻酔を行われておられるそうです。また、高気圧酸素治療室の紹介をするともに週間診療案内と外来週間スケジュールを掲載しております。皆様からのご紹介の程何卒よろしく願いいたします。

「随筆・その他」の「切手が語る医学」は、古庄弘典先生より「フィリピン・チャド」の切手が紹介されています。いつも珍しい切手の紹介ありがとうございます。また、小田原良治先生から「医療事故調査制度創設への途(4)」 「医療法務研究協会セミ

ナーを主催して」をご寄稿いただきました。日本も国際的なパラダイムシフトに追いつきつつあるとのご指摘でした。納利先生より「食べて感謝し恩を送り眠る」です。甲南保健クラブのホームページに掲載されておられるとのことですので、皆さんも色々な意見を述べられてはいかがでしょうか。また、「鹿児島市における結核の現状と対策」について、土井由利子先生からお寄せいただいております。結核の集団感染、感染拡大は避けなければならず何事もそうですが早期発見対策の必要性を改めて考えさせられました。上ノ町会長より「もうひとつの2025年問題」として書いていただいております。散髪屋さんにも少子高齢化の波が押し寄せているんですね。ご投稿いただいた先生方に変感謝申し上げます。

「区・支部だより」では荒田支部より第2回支部会、郡元支部より親善ゴルフコンペのたよりをいただきました。皆さん仲良く有意義な時間を過ごされたかと思います。ありがとうございました。

「各種部会だより」では市産婦人科医会、市在宅医会の報告、各専門分野での闊達な意見交換をされている光景が目に見え、まいります。ご苦労様です。

「各種報告」では、武井美智子および牧俊子先生には、日本医師会女性医師支援センター九州ブロック別会議、鮫島幸二先生からは平成30年度鹿児島市医師会小児生活習慣病予防検診の報告をしていただきました。

「鹿市医郷壇」はいつも楽しくユーモアのセンスに感服しながら拝読させていただいています。選者の方、またご投句して下さった方々ありがとうございました。

ここ数年梅毒が急増しており、今年2月の保健所の報告では平成30年は全国で6,983件報告され鹿児島県でも平成26年では7件でしたが、平成30年は51件と大幅に増加しております。原因ははっきりしませんが一因として海外観光客の増加が挙げられております。また、HIVの重複感染も見られるため注意対策が必要かと思えます。

年度末で何かと忙しいですが、新しい元号にもなりますし気分を新たに突っ走ってゆきたいものです。

(編集委員 角 純啓)